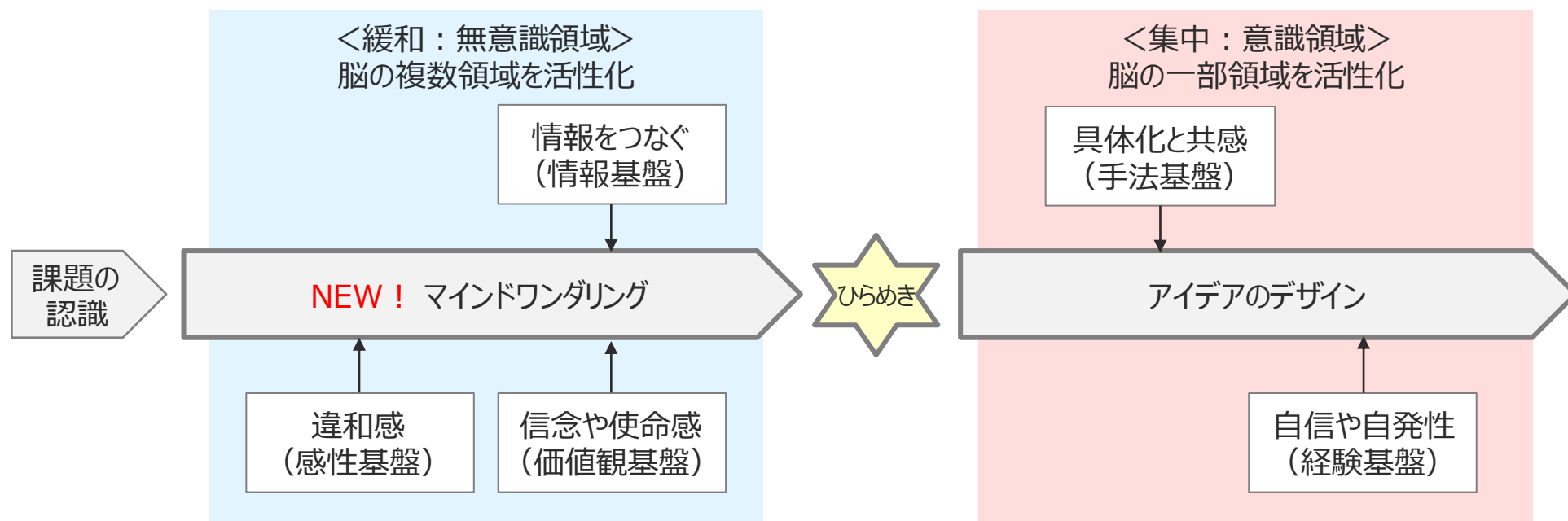


独創的アイデア創出人材育成プログラム

研修プログラムのまとめと振り返り ～5つの基盤の習慣化に向けて～

ひらめきをデザインするベーススキル（基盤）

- 課題やニーズに対し、感度の高いアンテナ（感性基盤）と、情報連鎖の機能（情報基盤）に、信念や使命感（価値観基盤）が加わることで、独自のアイデア（ひらめき＝新事業のタネ）が得られる。
- 独自のアイデア（ひらめき）は、説得プロセスを用いて具体化し、周りの共感を得る（手法基盤）。
- 過去の実績や能力を土台に意思の力を発揮し（経験基盤）、事業開発に向けて一步を踏み出す。



創発人材に求められる5つの基盤

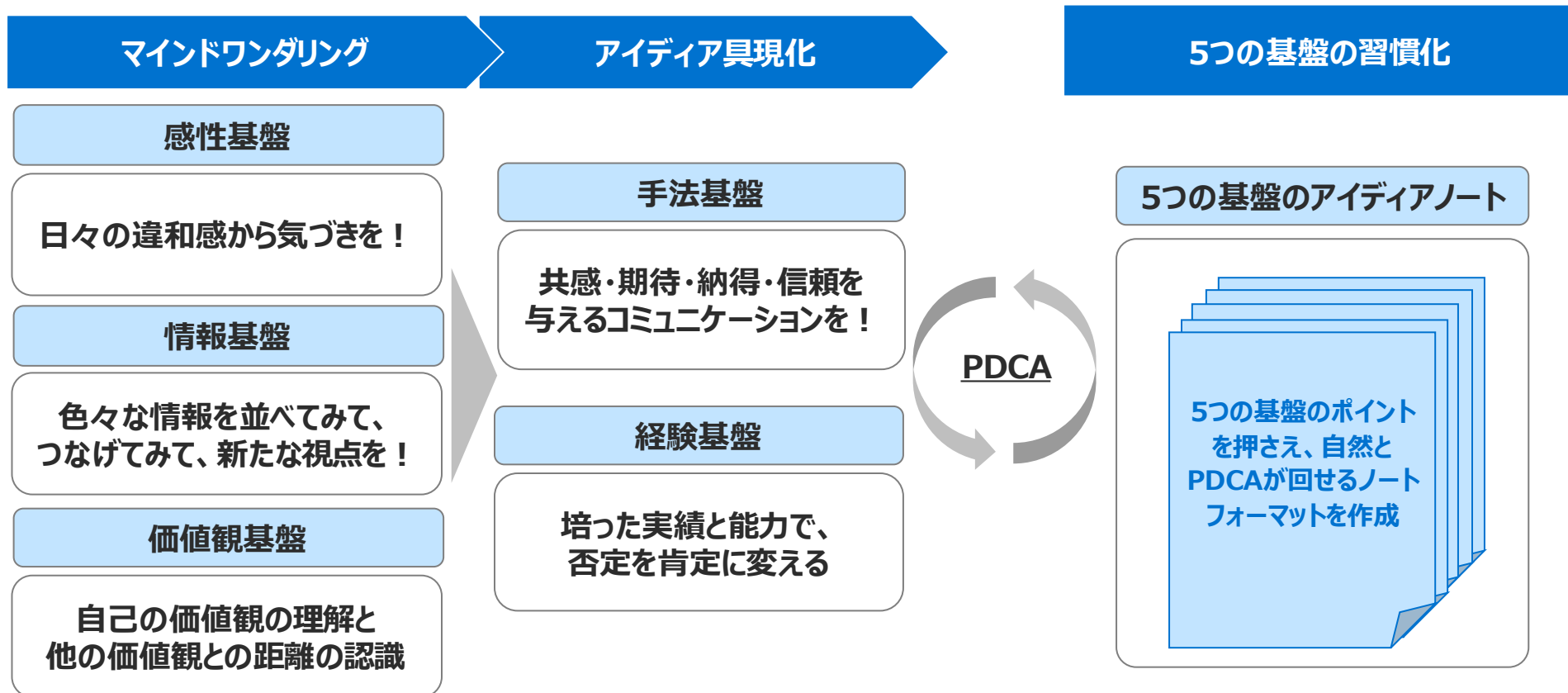
- 2日間のプログラムを通じて、創発人材に求められる5つの基盤を体験いただいた

	状態		求められる要素
マインドフンドリング	①感性基盤	社会や生活の変容に敏感であり、違和感や変化に気づける	観察力を高め、感性（感度の高い社会アンテナ）を身に着ける
	②情報基盤	特定の情報に反応し、その他情報との連鎖が起きる	特定の情報に「反応」し、異なる情報と「つながり」を見出し、発想を「飛ばす」
	③価値観基盤	社会や物事に対し、こうあるべきという個人の信念や使命感を持つ	価値観に正解はないが、個人の解が、どのような思考に基づくか自認する
アイデアのデザイン	④手法基盤	アイデアを相手に伝える「言葉」に変え周りを巻き込むステップがある	コミュニケーションのポイントを抑え、相手の心を開く
	⑤経験基盤	肯定的な考え方でイベントを捉え、ポジティブな気分から行動を行う	否定的な考え方を肯定的に変え、発展的な行動を思いつく

5つの基盤の習慣化に向けて

- 5つの基盤は、直ぐに習得することは難しいが、直ぐ実行に移すことは可能
- 習慣化することが重要であり、日々の生活・仕事などの中で、PCDAを回しながら、鍛えていく

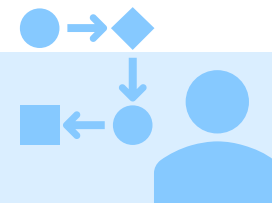
創発力を鍛える5つの基盤と習慣化



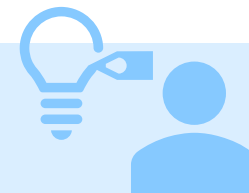
感性基盤：観察力・感性を高める

- 何気ない風景の中にも気づきがあり、物事を見る・触れる・体験する際、意識的に疑問を持ったり、違和感を感じるような見方をすることが重要。

1 さまざまな感覚器官をつかう



2 好奇心を持つ



3 非日常的な環境に身を置く



or

3' 日常においては

- 観察量（時間）を増やす
- 観察視点を増やす

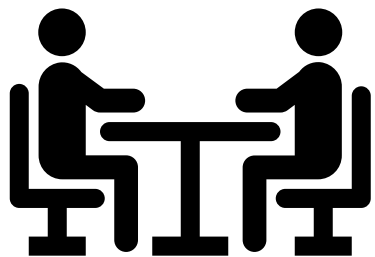


例：感性基盤を持つ方のイメージ（講師体験談）

- 感性基盤を持つ方は、人と違った見方をされており、それは天性ではなく、「意識的に」実施している
- 「意識」であるゆえに、感性基盤は「習慣」により身に付けられると考えられる

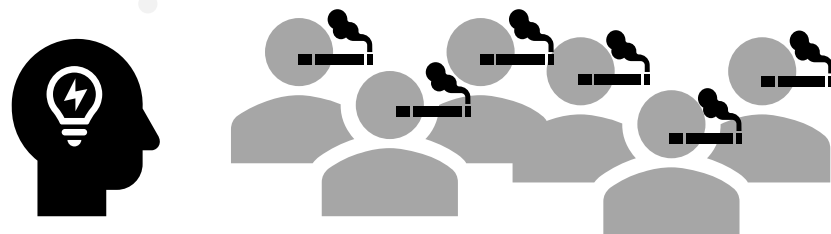
例①：飲食店の空席を見て…

飲食店の空席は「時間と共に一瞬一瞬で消える在庫？」



例②：喫煙所の混雑を見て…

移動型喫煙所＋カフェ＋オンライン禁煙外来？



感性基盤：習慣化に向けたアイデアノート

- 日常の中で“違和感”や“疑問”を感じた場面を写真撮影し、貯めていくことを通じて、新たな発見や気づきを生み、アイデア創発につながる。

YY/MM/DD (aaa) 感性基盤

場面のタイトル記入

日付： / /

タイトル：

撮影した写真を挿入

写真

気づきに関するメモ：

違和感・・・
疑問・・・
発見・・・

仮説メモ：

関係性・・・
役割・・・
経緯・・・

メモを記入

■ ノートフォーマット

- 日記の形式を活用。
※ノートアプリ/メモアプリで有名なGoogle Keep、Evernote、One Noteなどを利用し、スマートフォン内で記録しても構いません。

■ 書き方

1. 日付（曜日）・タイトル・基盤名をつける
2. 研修の進め方に合わせて、最初は「観察⇔撮影」。
3. 次に「観察⇔撮影→気づき」。
4. 最後に「観察⇔描画→気づき→仮説」と、広げていく。
5. MWを重視するため、違う日に書いたら日付を記入。

■ ポイント

- 対象を抽象化せず、多様な視点で観察し撮影・気づきの記入を行う。記入時は下記を意識するとよい。
 - ヒトの行動、しぐさ、表情など
 - モノの形、全体、細部、使用状況など
 - コトの背景、アクティビティ、順序など

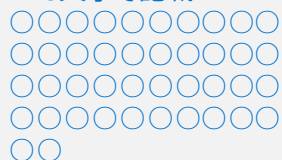
(参考) 写真記録とメモの例

- 得られた気づきをメモ等で記録する際、いつも利用しているスマートフォン等を活用すると便利。

メモの形式



気づきに関するメモ約20～140文字で記載



例



車両はコンパクトなため一人で運営できそう。慣れた様子から見るにお客さんは常連さんが多いのでは。照明が無いので営業は夕方位までだろう。。。

ノートアプリ・メモアプリで有名なGoogle Keep、Evernote、One Noteなどを使うと、スマートフォンで簡単に記録ができるよ



Google Keepを活用した例



情報基盤：情報に意味を持たせ、つなげて、広げる

- 創造性は情報の結びつきによって生まれ、「自身の感性により情報を“意味付け”し、他の情報と“つなげる”ことにより、新しいストーリーを“広げる”」ことがアイデア創出に欠かせない

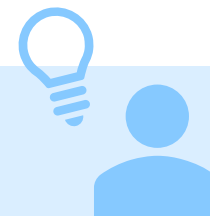
1

「意味づける」 情報は意味づけしてこそ価値を生む



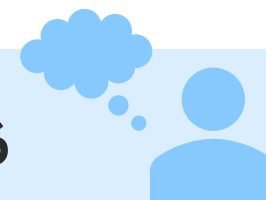
2

「つなげる」 創造性は情報の組み合わせによって生まれる



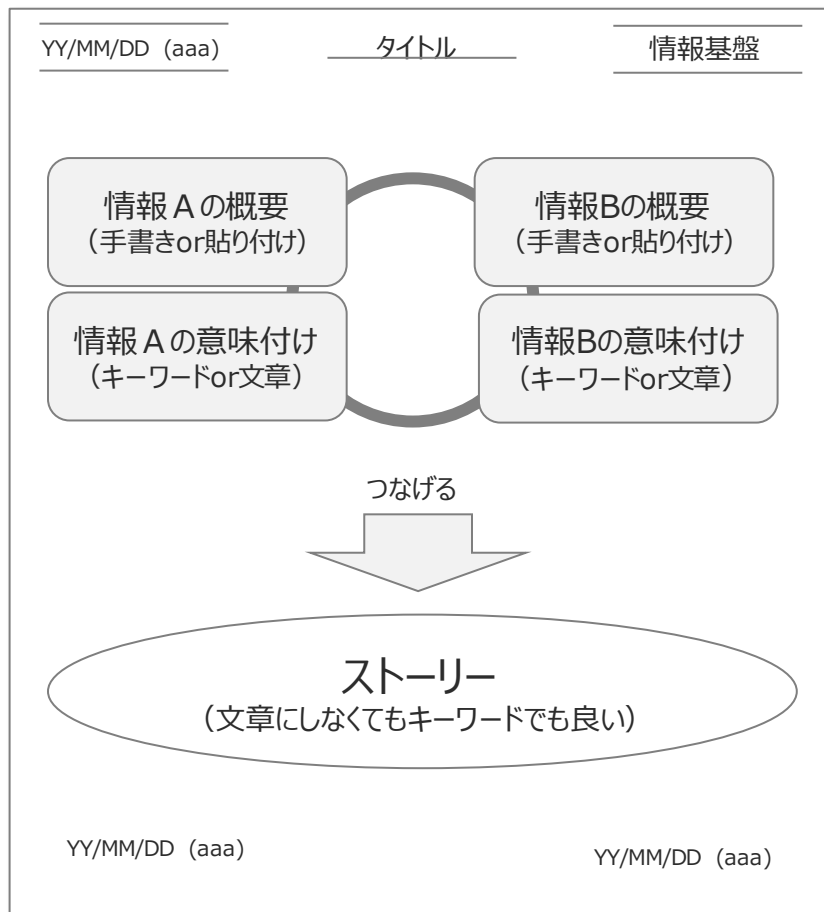
3

「広げる」 新たな視点を入れることで更なる創造性が生まれる



情報基盤：習慣化に向けたアイデアノート

情報を意味づけ、つなげ、そして、広げることを習慣化する。まずは自分ひとりでできる「意味づける」「つなげる」を日々実践。完璧を求めず、ストーリーづくりを楽しむことが重要。



■ ノートフォーマット

- ・ 情報を「意味づける」と「つなげる」をアイデアノートで実施。

■ 書き方

1. 日付（曜日）・タイトル・基盤名をつける
2. 最初に「情報 A」の概要と意味付けをメモ。
3. 最初に「情報 B」の概要と意味付けをメモ。
4. 「ストーリー」を、メモした日付とともに書く。

■ ポイント

- ・ ふと思いついたら、メモする、貼り付ける。
- ・ ノートを持ち歩き、適宜、前後のページを眺める。
- ・ 量は質に転化する！だからこそ、完璧を目指さない。キーワードだけでも良い。
- ・ ストーリーづくりに慣れてきたと思い始めたときが注意！簡単にストーリーができそうな情報を選び始めている。

(参考) 独創的なアイデアを発想する情報の扱い方

- 「独創的な発想」は限られた人にしか思いつかず、そのプロセスは未知のものであるといったイメージが強いが、実際は、「アイデアを生むために必要なのは、よりたくさんの情報」である

【アイデア発想法】



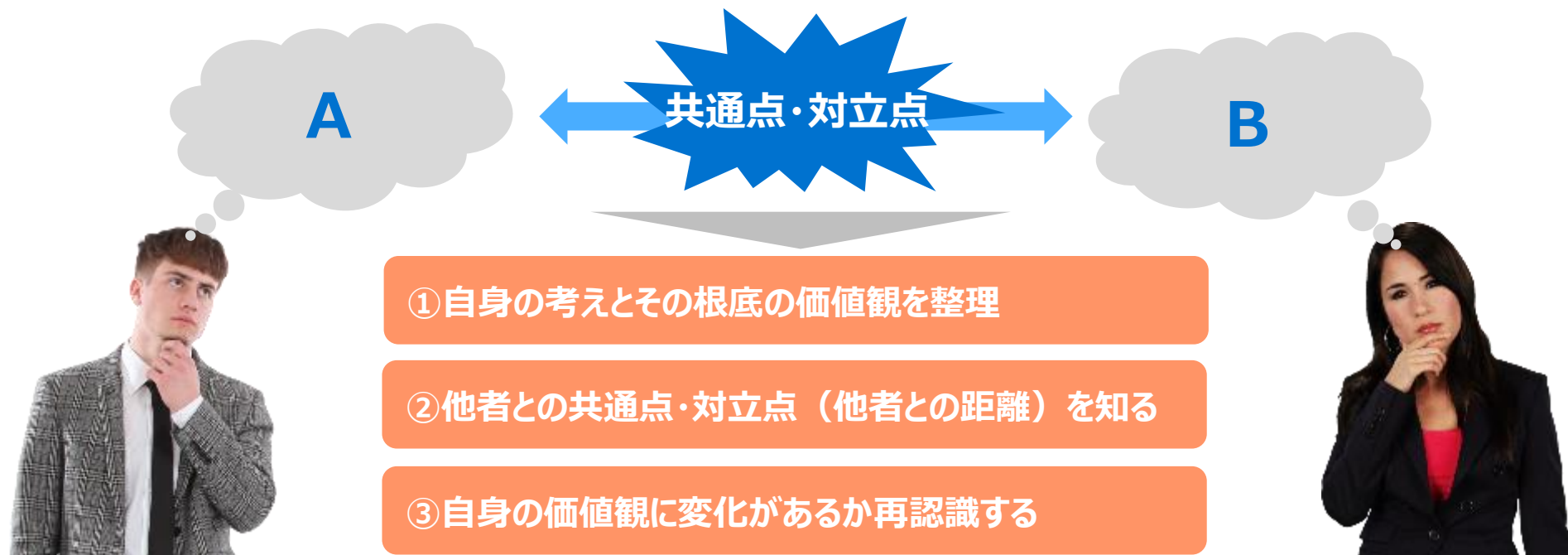
Fact	新聞や雑誌など、気になった「事実」をメモする
Opinion	他の人の主張で気になったもの、斬新な「意見」をメモする
Analysis	感心した他者の「分析」や「切り口」をメモする
Question	自分の疑問を含め、情報発信者自身が抱いている「疑問」をメモする
Expression	面白いと思った文章表現、比喩などの「表現」をメモする



出展：嶋浩一郎「アイデアの作り方」（ディスカヴァー・ポockets）

価値観基盤：自己の価値観の理解と他の価値観との距離の認識

- 答えのない課題において重要なことは、**異なる価値観の存在を認識し、その対立点やそれらの背景や根底の価値観を理解することの重要性を学ぶ**こと。
- それを通じて、「自身の価値観の明確化」「新たな価値観の発見」「異なる価値観により自分の価値観の変化」があることが重要である。



違いを知り、他者の価値観により自身を見つめなおし、自身の価値観の再認識・修正・追加の重要性を知る

価値観基盤：習慣化に向けたアイデアノート

- 答えのない命題に対して、マインドワンダリングを促すもの。まずはアイデアノートで思考。
- 短時間で答えを出すのが目的ではなく、自分の価値観を明らかにすることが大切。

YY/MM/DD (aaa)	タイトル	価値観基盤
(命題を簡単した文にしてメモする) A氏がトロツコの進路を切り替えれば、5人が助かる。しかし、切り替えた線路では1人が作業しており、確実に死ぬ。切替はすべき？		
直感 絶対賛成 ←  → 絶対反対		
数量 (1人と5人について) (公平と道徳について)	手段 (自分で切替と他人が落ちる) (プログラムを解して切替)	
対象 (自分より他人が大切?) (対象が身内・弱者なら)	暗黙条件 • ○○の場合、XXXX • △△の場合、□□□	
最終 絶対賛成 ←  → 絶対反対		
(MWで価値観を不可彫りした後の考えを記入) XX XX		

■ ノートフォーマット

1. 命題に対する個人の意見・立場に対し、アイデアノートを使って、価値観を深掘りする

■ 書き方

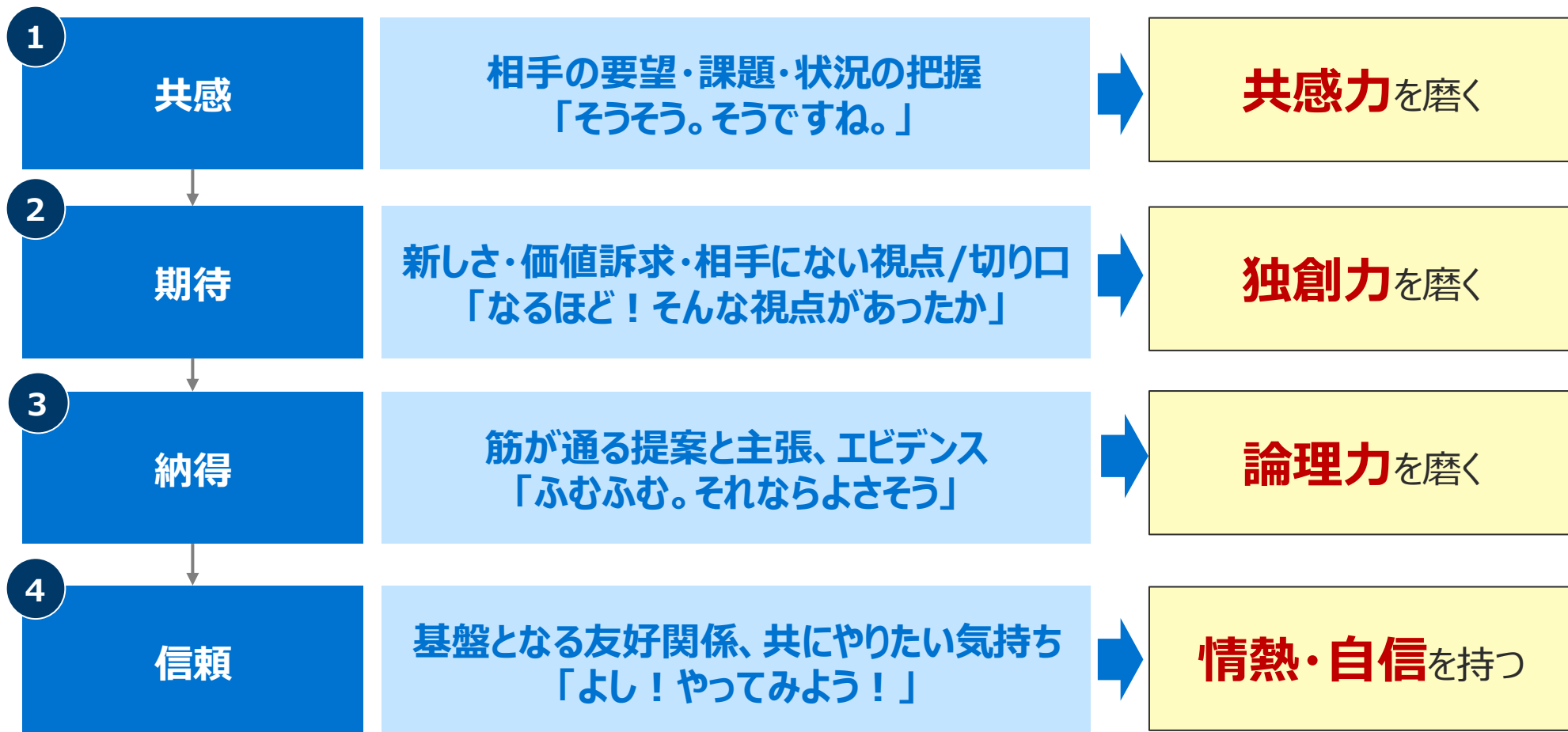
1. 日付(曜日)・タイトル・基盤名をつける
2. 命題を簡潔な文にしてメモる(思い出すために)
3. 最初に直感で、意見・立場の位置づけを○する
4. 意見・立場の価値観の背景を、4つのカテゴリで深掘り
5. 最後に改めて、意見・立場の位置づけを○する
6. 自分が思ったことを、その下に記入する

■ ポイント

1. 最初に「命題メモ」と「直感意見」と枠を作り、一旦終了。
2. ふと思いついたら(MW)、メモする。

手法基盤：他を巻き込むコミュニケーションの4つのポイント

- ・ コミュニケーション（対話・提案）の際、4つのポイントを押さえることが大切。
- ・ これを日頃のコミュニケーションを通じて、PDCAを回していく。



手法基盤：習慣化に向けたアイデアノート

- 何らかの対話を実施する際、以下のようなアイデアノートを用いて思考する。
- Plan/Do/Checkを行い、4つのポイントの取り入れ方を身につけていく。

YY/MM/DD (aaa)	タイトル	手法基盤
(自分の目的) ↓ (相手に言わせたい言葉)		
	仮説：かく	実行：はなす 検証：ふりかえる
共感		
期待		
納得		
信頼		

■ ノートフォーマット

アイデアノートの1ページ（1回目）

振返り後の再アクションは2ページ（2回目）へ

■ 書き方

1. 日付（曜日）・タイトル・基盤名をつける。
2. 「自分の目的」「相手に言わせたい言葉」を記入。
3. 「かく」と「はなす」を事前に記入。
4. 実行後、検証として「ふりかえる」を記入。

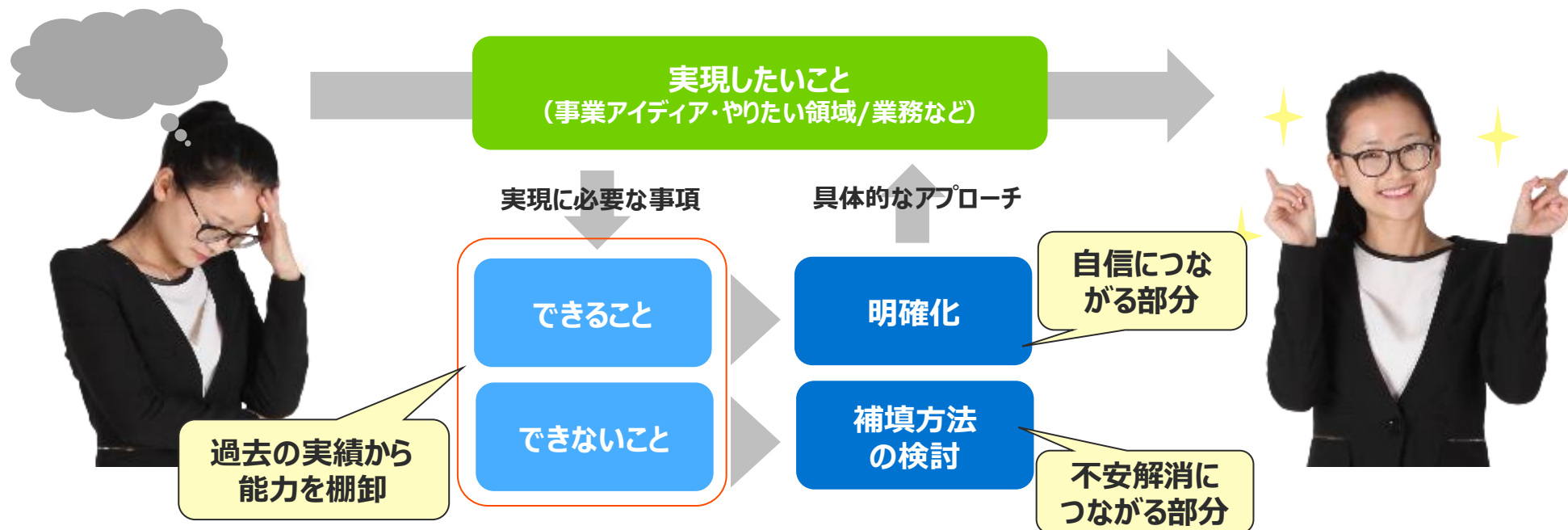
■ ポイント

- 相手に言わせたい言葉を考える
- 4ポイントの仮説を「かく」

※結構、ココができない人が多く、
解を相手に求める傾向がある。

経験基盤：過去の経験や培った能力を基に自信を持つ

- 物事を成し遂げる上で、それに対する計画・方法を検討することさることながら、**マインドの持ち方として、「不安・恐怖」から「出来る前提」に切り替えること**が重要。
- できることを明確にし、自信につなげ、できないことにおいては補填方法を考え、不安解消につなげていくことが大切。



経験基盤：習慣化に向けたアイデアノート

- 自身の能力の客観視を定期的に行い、自身の能力のアップデート
- 実現したいことと必要な前提条件、足りない要素とアクションを作成し、定期的に見直す

YY/MM/DD (aaa)	タイトル	経験基盤
【期間】までに実現したいこと		
実現において必要な前提条件（スキル・経験・人脈・情報等）		
実現において 足りない要素	アクションプラン	

■ ノートフォーマット

- 実現したいこと（やりたい事業アイデア、なりたい自分、やりたい仕事/領域など）を記載
- それに対して、実現において必要な前提条件と足りない要素（能力・リソース・ネットワーク等）を記載
- これを定期的に見直して、進捗管理を行う

■ ポイント

- 実現したいことにおいて、常に「実現できる」という肯定的な感情を持つことが重要。
- 肯定的な感情を持つために、定期的に能力の棚卸と客観視を行う。
- 感情の転換、行動の発展は、消しゴム等は使わず、追記していく。心の移り変わりも重要。

長時間にわたり、お疲れ様でした。
ご視聴いただき、誠にありがとうございました。
皆様の「創発」に少しでもお役に立てたら幸いです。

経済産業省
株式会社日本総合研究所